

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当センターにおける子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離19例の分娩様式の解析
研究責任者	山元 康寛
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離に対し、わが国では帝王切開術による急速遂娩が行われてきましたが、近年は経膣分娩を選択する施設が増加傾向にあります。当センターでは以前より積極的に経膣分娩を選択してきました。 この研究は、当センターでどのように分娩管理を行ってきたか、また経膣分娩に伴うリスクなどを明らかにすることで、より多くの施設で子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離に対して経膣分娩を選択するようになる可能性があると考えられます。
研究方法	【研究の方法】 対象は、2010年1月から2021年10月に子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離の診断で、当センターで分娩した方としています。 診療録から、分娩様式および具体的な妊娠分娩管理などについて後方視的に解析します。 【個人情報の保護】 この研究に関わる成果は、他に漏洩することのないよう慎重に取り扱います。情報は分析する前に氏名、住所、生年月日などの個人情報を削りどなたにもわからないようにします。 【研究結果の公表】 本研究で得た知見は、学会や論文等で公表したいと思います。 研究対象者に該当し、参加を希望されない方は下記の連絡先までお願いいたします。 研究に参加を希望されなくても不利益は一切生じません。 直接的な利益ではありませんが、将来出産する方には有益な貢献となると思います。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：山元 康寛、笠井 靖代 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604